

議事録

令和元年度第2回島根県企業局経営計画評価委員会

日 時 令和2年1月24日（金）

14:00～16:00

場 所 市町村振興センター 大会議室1

○委員長

よろしく申し上げます。

きょうは、お忙しい中、委員の皆様にはお集まりいただきまして本当にありがとうございます。

教育委員会のほうで島根県総合教育審議会の答申を見させていただいて、その中に、答申は今後を見通した島根県の教育の在り方についてという答申でございますが、その中の基本理念に、「ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人づくり」という基本理念を紹介していただきました。まさに企業局の仕事、これは先ほど企業局からずっと御紹介していただいたところございますけれども、ふるさとの自然と非常に関連した仕事、事項ばかりでございます。このことについて、水力、風力、太陽光も含めて、我々、広くPRして、そして教育の、ふるさとのインフラづくりも勉強して学生さんに提供していこうというふうに思っているところでございます。

それでは、次第に従いまして会議を進めます。

議事の1、令和元年度各事業の運営状況についてというのと、2、企業局経営計画、令和元年度上期の取り組み状況について、企業局から一括して説明をお願いします。

〔事務局説明〕

○委員長

ありがとうございました。

ただいまの御説明について、委員の皆様から御意見、御質問等をお願いいたします。どうぞ。

マイクをお願いします。

○委員

よろしくお願いたします。

今回、今御説明をいただいて、人材育成のこととか危機管理体制の強化のことが書かれていて、非常にいいと思ったところでございます。聞きたいのは、危機管理体制の強

議事録

化について、県の地域防災計画や、BCPとの関係を整理するということであるとか、原子力災害への対応、地区災害対策本部との関係について整理等と書かれておりますが、もうちょっと具体が聞きたいというのが質問の1点。

もう一つは、経費の縮減とか効率化の部分と新たに投資をして事業をやっていくことがあろうと思うのですが、そういったことを経営計画で出されているということは、毎年、財政の収支状況を把握されていると思っております。今回、それぞれの事業ごとに、上半期、1月ぐらまでのところのものをお示しいただきたいですし、この計画期間内での財政の収支状況がどうなっているかという、当初、計画作成時からのローリングの結果とか、そういったものも少しわかれば教えていただければと思っております。よろしく申し上げます。

○企業局

私のほうから、まず、危機管理のことについて御説明いたします。

先ほどありました県としての地域防災計画とか、あとBCP、ここの中には企業局も、県の部局の一つですので当然盛り込まれておりますけれども、なかなか全体の中で企業局の具体的な動きというのが正直余り詳しく書かれていないというところで、企業局としては危機管理計画というのをまた個別に持ってございまして、その中で定めていくと。原子力災害等につきましても、県としても原子力のBCP等持ってございましてけれども、具体的な記載は正直余りなくて、それについても、今ああして原発全てとまっておるとい状況の中で、再稼働までのところで何とか整理をしたいなというところがございまして、福島等の事故をご覧になればわかりますけれども、それぞれ一気に事が進むのではなくて、それぞれ段階段階があったりですとか、放射性物質の拡がりの状況とか、当然24時間単位で事が動いているわけで、そういった中で、企業局の例えば浄水場、これはどういった形で運営していくのかと。当然、人が避難していけば、その人口が減っていくわけで、そういった中で、今の例えば松江市の水道局さんとも協議しながら、人口が減っていく中で給水をどういうふうにしていけばいいのかとか、あと、浄水場自体の運用はどうしたらいいのかといったところを今後考えていきたいというふうに思っております。

それと、地区災対との関係ですけれども、企業局、島根県の中で9地区だったかな、分けてあって、ただ、実際企業局として職員がいる地区というのが、今の東部事務所がある安来と本局がある松江と西部事務所がある江津といったところで、有人の地区は

議事録

3地区ではございますけれども、実際は企業局の施設は県下全域にわたってございまして、川本地区以外は、隠岐も含めて、全て企業局の何らかの施設があると。そういった中で、職員がいない地区に対してそういった災害が起こった場合に、どういうふうに対応していくのかといったところを今後考えていきたいなというふうに思っております。

○企業局

財政状況につきましては、この経営計画評価委員会が上期に1回ありますけれども、例年7月に行っておりますが、その際に決算状況等について詳しく御説明申し上げました。ちなみに、お手元に経営計画の概要版というのがございまして、この中で、それぞれ、10ページ以降、当初作成した財政計画、投資・財政計画がついています。それぞれ具体的な数字を掲げております。ただ、これについて每期每期これを比較するような仕組みではなっておりませんので、これまでもこの投資・財政計画がどうだったのかというところについては、決算を踏まえたところの数字のお示しとか、今後どうすべきかというところは、来年度、先ほど冒頭に局長から御挨拶させていただきましたが、経営計画の見直しの中で実績を明らかにして御説明申し上げたいと思っております。每期毎期の説明の仕方については、単年度単年度、あるいは前年度対比の決算説明、先ほども申し上げたように、この委員会で7月に行っておりますが、全体像としての推移についてはどうなのかということにつきましては来年度、御説明申し上げたいと思っております。以上でございます。

○委員長

どうぞ。

○企業局

ちょっと補足をさせていただきます。さっき災害対策の関係で、特に原子力災害についてのお話もしましたが、原子力災害、これは稼働するかどうかということは全然わからない話でございますので、稼働するしないにかかわらず、我々具体的なところはつくっていかねばいけませんので、その辺は誤解のないようにいただきたいということであります。今でも使用済み核燃料は原発内にありますので、稼働しているかどうかというよりも、もう既にそういう状態にありますから、我々としては動く動かないにかかわらず、きちっとこれをつくっていく。その中で、当然ながら松江市さんとかいろんなどことの整合性を図りつつ、これをつくっていかねばいけないな

議事録

というふうに思っております。よろしく申し上げます。

○委員長

ありがとうございました。

そのほか何かございますでしょうか。

どうぞ。

○委員

済みません、これも経営計画のほうに入るのかもしれませんが、企業局の御挨拶の中でも和歌山の件だとか水道管の問題が、ちょうど昨日でしたかね、ニュースか何かになって。全国で老朽化して更新の時期に来てるのが約20%になるという話が。これ自治体レベルの上下水道の問題かもしれませんが、こちらのほうでもそういう老朽化、更新のどれぐらいの比率にあるのかという把握だったり、あるいは、そういうのを最近ではデータに基づいて人工知能で予測をされるとかいうところなんかもありますので、そういう取り組みだったり、考えておられるのかというのと、それに基づいてまたインフラの更新も必要ですので、経営計画の見直しとかにも絡むのかどうかというところをちょっとお聞きしたいので、お願いいたします。

○企業局

水道管については、上水、それから工水とも、飯梨川工業用水についてはもう既に50年たっていますので、耐用年数、例えば管は法定耐用年数が40年なんですけど、それに対してもう既に超過してるのもありますし、それから、水道、上水のほうも飯梨川、大体もう間もなく40年経とうとしています。それから、江の川ももう30年から経つというところでかなり老朽化が進んでおり、企業局は、後ほどちょっと御説明しますが、施設管理基本計画を今現在、策定、それから、もう既に策定済みのものもあるんですが、その中で、水道管を含めて老朽化した施設の更新、それから、あわせて耐震化、これについても考えていくということをしてますので、今後、経営計画の見直しの中でも当然それは反映されていきます。ですので、先ほど財政収支の話も出ましたが、そのところにも反映されていくという形になっているというところでございます。

○委員長

それではお願いします。

○委員

議事録

済みません、1つ細かいこと確認なんですけども、先ほど尾原ダムの関係で説明をされまして、この詳しい説明の中では洪水時って言われてましたが、この表では濁水リスクってなった、これは洪水リスクなんですか、やっぱり濁水なんですか。尾原ダム事前放流に対する国土交通省の調整っていうところなんですけど、これは濁水のままで。

○企業局

洪水であります。

○委員

洪水ですか、はい、わかりました。

それと、もう一つ。

○企業局

空振りした場合があります、事前に水を、水位を下げておけば、雨が降らなかったと、降ってくればその分ためて耐えられるんですけども、空振りしちゃったという場合ございますので、そのことが濁水リスクになります。

○委員

わかりました、済みません。

それと、施設見学等、出前講座の充実っていうところですけども、いつもなかなか人数がふえなくて、どうなんだろうと思ってたんですけど、今回見せていただいたらかなりふえていて、とてもうれしく思います。

私が今、ちょっと小学校のほうにたまにお手伝いについていて、今回、6年生の授業で発電っていうところを勉強してました。今回、その学校では遠くのほうから講師に来ていただいて説明をされてたんですけども、図で説明をしたりとかっていうふうなことでなかなかわかりにくいことがあるんです。出前講座が今どんなことをされてるか分からないんですけども、例えば動画みたいなことで、こういうふうにしてるんだよとかっていうふうなことが何かわかるような説明の講座であれば、とても子供たちは興味を持つんじゃないかなっていうふうな、たまたまちょっと今回、私が体験したので、意見としてよろしく申し上げます。以上です。

○企業局

出前講座につきましては、企業局全体、東部、西部も含めまして、やらせていただいております。一部の例を申し上げますと、もしそのような御要望があれば、事

議事録

前に直接お話を聞かせていただいて、私たちはこういう説明をしますが、これでもよろしいですかと、こういうことをまた説明してくださいと言われてれば、それも追加して説明すると。大人用だけではなく子供さんたちに対応できるような内容でやっておりますので、ぜひ御相談いただければやらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

○委員

じゃあ、ぜひ先生方に言うておきます。

○委員長

よろしゅうございますか。

それでは、いろいろ御意見いただきましたけれども、時間が来ましたので、次の議題に入らせていただきます。

議事3、各事業の取り組み状況について事務局から説明をお願いします。

〔事務局説明〕

○委員長

ありがとうございました。

それでは、ただいまの御説明について、皆さんから御意見、御質問等をお願いいたします。

どうぞ。

○委員

資料の4になります。FITによります発電所をリニューアル等を含めて取り組み中ということなんですけれども、経済産業省のほうで現在、このFITについて発電側基本料金というものを検討されているそうです。これは、発電者に負担を求めるといいう制度だそうでして、背景としましては、いわゆる系統連系といいますか、こういったものの増加とか、あるいはそれに伴う負担増加ということで、これに対応するための費用というような考え方をされているようなんですけれども、もちろん企業局さんにおかれましてもFITを最大限活用されているという中で、今後、キロワット当たり例えば150円というような話も出ているようなんですけれども、こういうことになってきますと、将来的に収支計画とか事業の見通しなどにも影響を与えるというふうに思われるところなんですけど、こうした懸念に対して、どのようなお考えなり方針なり対処法などを考えておられるか、もしわかれば教えてやってください。

議事録

○企業局

今の発電側基本料金は、現在、2023年ぐらいから多分導入されるだろうということになっております。先ほど委員おっしゃいましたように系統連系というか、実際には今、送電線がやっぱり不足しており、それを新たに増設とか更新とかしていくときに、今現在、いわゆる小売電気事業者さんが、100%負担している状態なんです。そのような中で発電側が何も負担しないのはおかしいだろうというところで、発電側のほうにもちょっと負担しなさい、一部負担しなさいというところでお話が出るところです。

今、先ほど言われたように月にキロワット大体150円、掛かっていくということになると、大体年間1億ぐらい掛かるんじゃないかという話になるんですが、これについては、我々もこれぐらい掛かるだろうというのは想定しております。これがいつからかという話になると、先ほどお話ししたように2023年ぐらいからということですが、制度はまだ完全には固まってないんですけど、一応、我々の頭の中で想定はしてあるということでございます。

○委員

わかりました。

○委員長

そのほか。

どうぞ。

○委員

沢山の良いことを手掛け、PRしていらっしゃる事、すばらしいと思いながら勉強させて頂きました。けれども、先日、飯梨川の浄水池を見学させていただいたのですが、その際に確かに水の流れる管の取替は難しいかもしれませんが、施設のひび割れとか、そういうものが非常気になりました。一番の自慢の大切な水が、お膝元でストップし、そこがもし揺れた時には管の中を通る水も出ないでしょうから、やはり施設をちょっとした費用で出来る時期に、大きくならないよう直していける所があれば、ぜひ直していただきたいなと思います。そういう予算をぜひつけてあげてほしいなと思います。お願いいたします。

○企業局

今、飯梨のお話があったけれども、コンクリートの構造物につきましては、当

議事録

然施設の診断はしております。ひび割れとかも、ぱっと見た目にはやっぱりちょっとひび割れとるなというのはあるんですけど、実際はその程度というのもございますので、そこら辺もきちっと判断してますし、当然、特に土木施設については4段階設けておまして、1、2、だんだん数字が大きくなるにつれて悪くなるんですけど、1と2だったら特に要らないと。3になったら5年以内に直しましょう、4だったらすぐ直しましょうという基準をきちっとつくっておまして、そういった中で適切な判断をさせてもらってますので、特に土木、コンクリート構造物についてはもう日々、目で見えますので、状況の進行具合もわかりますので、そういったことも含めて適切に判断して、必要な時期に修繕は行ってまいります。

○委員

よろしくお願いたします。

○委員長

そのほかありますでしょうか。

このホームページは、あれですかね、スマホ対応という、そういうのですかね。どうでしょう。

○企業局

スマホ対応です。

○委員長

スマホ対応。

○企業局

今までの県のホームページは、スマホで見ると長くなっちゃって、うちのホームページはすごく長いんで、見にくいとあって、今回の分はもうスマホ対応でつくらせていただいております。

○委員長

ああ、すばらしい。スマホ対応でわかりやすくしていただけるということですね、わかりました。

○委員長

特に。

そのほか、皆さん何かございますでしょうか。よろしゅうございますか。

この際、全体通じてでも、今後の企業局業務、運営、全般にわたることで結構ですの

議事録

で、何か御意見がございましたら、どうぞ全体を通じてでもよろしいが、ございますでしょうか。

このダムカードはどうか、やっぱりすごい出ますか。今、はやりっちゃ、すごいやってて、割合、物すごい、特に島根のダム、すばらしいんですが。もう一気にめちゃいますか。

○企業局

ダムカードにつきましては、特に三成は非常に好評でして、春からもう1,000枚を超えて出てるのかな。特に今年は初めて民間のバス会社が企画するダムバスツアーというものも出ておまして、それは岡山のバス会社でしたけれども、そういったところも受け入れるようにして、尾原ダムと三成ダムのセットで見学ツアーをされたんですけども、そういったこともあって、その人たちがまた非常にコアなダムファンの方々に、その人たちもまた恐らく宣伝されているんだろうと思いますけども、非常に遠くからたくさん日々、土日に限らず、平日も何人も来られるという状況で、ある意味ちょっと対応する職員が、また来た、また来たみたいな感じはあるんですけども、非常に三成ダムは好調に出ています。今度、ダムカードも新しくされるということで、また増えるのではないかなと思いますが、マニアはきっとまた貰いに来られるんじゃないかなと期待をしております。

○委員長

SNS上で三成ダムというのはものすごい人気がありまして、皆さんあれにアクセスして宣伝をひとりでにさせていただけるという、すばらしいことでございます。

何か、よろしゅうございますか。

そうしますと、特にないようでございます。全般通じてきょうは、企業局の経営計画についてはPDCAサイクルをきれいに分けて、そして、質の保証というものをしっかり御説明していただきました。そういう意味では非常にありがたい御説明だったと思いますし、わかりやすい説明だったと思います。それから取り組み状況等については、今さっき何回も出てましたが、施設管理基本計画に基づいて危機管理等もしっかりとコントロールしていこうという御説明もいただきました。全般的には自然を相手にしていますので、それに対応してしなやかに対応していただいているというのがわかります。

一方では、今さっきのいろんな御説明の中に攻める企業局、給水車の活用ということで

議事録

給水車を新たに購入されるということもあったり、今さっきも、オリジナルのホームページをつくっていただいて広報活動をしっかりするというのは、これは昨年度に御指摘した内容ですけれども、もうこれについても、企業局のほうとして皆さん一丸となって考えていただいたということでございます。さまざまな対応を見ておりまして、非常に質の高い、クオリティーが非常に高くなって、そして、しっかりと前に前に進んでいらっしゃるということを確認しております。

ということで、そろそろ時間も参りましたので、本日の議事を終了したいと思っております。委員の皆様方には、議事進行に御協力いただきありがとうございました。